

演題

当院における細菌検査管理システム

医療法人養気会 池井病院 検査部

山下景子 正覚明美 西田智子 守屋喜代 斉藤由紀子

[はじめに]

細菌検査を小規模病院において、院内施行することは、経費の点などで難しい現状である。しかし、院内感染管理上、需要がますます増大し院内施行によるメリットも大きいため、当院では院内施行を遵守している。今回、事務レセの省力化を行うために、病院オーダリングシステムを導入することになったが、検査システムは、経費の点で生化学検査などの迅速検査のみを病院オーダリングシステムに接続することになった。細菌検査については、市販のデータ処理ソフトは高額であるとともに、当院の規模から行っても市販のソフトを使うことは逆に煩雑化を招くことになると考え、来年の院内オーダリング導入に向けて、検査部独自の処理ソフトの開発に取り組んだ。

[方法]

大量のデータを蓄積し必要な情報を必要な形で取り出すことができ、多くの人たちと共有できる体制が整っているデータベースソフトにはファイルメーカーや Access があるが、当院は Access を利用してデータ処理ソフトの作成を試みた。

Access ではデータを効率的に蓄積して活用するために、データの蓄積、データの取り出し、入力、印刷をそれぞれ「テーブル」「クエリ」「フォーム」「レポート」といった専用の機能を使用して行います。それらを連携しあうことによって、データベースを構築できます。

メニュー画面はカレンダー・患者属性入力・検体別入力・患者一覧・進捗・検査結果件数・検索・抽出・報告とした。

検体別入力画面

進捗画面

[考察]

現在、まだ開発途中ではあるが、今までの紙媒体での保存に比べ、複雑なデータ処理・菌検索が簡単に行えるようになった。特に、患者過去データの検索・MRSA 発生状況などの検索が逐次に行える。今回のソフトの完成は来年の院内オーダリング開始を目標としているが、院内オーダリングシステムとの接続は行わない。現在すでに、稼動している院内サーバーを介し各部と共有化を行う予定である。